

令和2年度 公社等経営評価シート
(対象期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日)

概	名称	一般社団法人宮崎県林業公社		所在地	宮崎市旭1丁目2番2号	
	電話番号	0985-24-3515		ホームページ	http://park23.wakwak.com/~miyarinkou/	
	設立年月日	昭和42年9月5日	代表者	理事長 河野 俊嗣	県所管部・課	環境森林部環境森林課 みやぎの森林づくり推進室
	総出資額	13,500 千円		県出資額	5,000 千円	県出資比率
要	設立目的	森林及び林業に関する事業その他緑化に関する事業を行うことにより、国土の保全、森林資源の培養、木材の安定供給、水資源のかん養及び自然環境・地球環境の保全を図り、地域経済の振興及び県民福祉の向上に寄与する。				
	特記事項	昭和60年1月10日付けで分収林特別措置法に基づき森林整備法人として認定されている。				

内容		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
改革工程	①公社等のあり方見直し	(計画) 経営状況や経営改善に向けた取組の進捗を管理するため、定期的に会議を開催し、情報共有に努める。 (実績) 進捗管理のため情報共有を行うとともに、経営改善実行管理会議等を毎月開催し、県と一体となり経営改善に努めた。	(計画) 経営状況や経営改善に向けた取組の進捗を管理するため、定期的に会議を開催し、情報共有に努める。 (実績) 進捗管理のため情報共有を行うとともに、経営改善実行管理会議等を毎月開催し、県と一体となり経営改善に努めた。	(計画) 経営状況や経営改善に向けた取組の進捗を管理するため、定期的に会議を開催し、情報共有に努める。	
	②公社等の経営見直し	経営・事業運営改善 ・計画に沿った事業の実施 ・分収林契約の期間延長	(計画) 長伐期施業の推進や伐採量の平準化を図るため、引き続き契約変更手続を進める。 また、第4期経営計画に盛り込んだ経営改善に向けた取組について、確実な実行に努め、経営の安定を図る。 (実績) 伐採量の平準化を図るため、土地所有者の理解と協力を得ながら、分収林契約期間延長を22件(203ha)行った。 また、第4期経営計画に基づき、列状間伐や間伐材の直納販売等に取り組むなど経営改善に努めた。	(計画) 長伐期施業の推進や伐採量の平準化を図るため、引き続き契約変更手続を進める。 また、第4期経営計画に盛り込んだ経営改善に向けた取組について、確実な実行に努め、経営の安定を図る。 (実績) 伐採量の平準化を図るため、土地所有者の理解と協力を得ながら、分収林契約期間延長を29件(265ha)行った。 また、第4期経営計画に基づき、列状間伐や間伐材の直納販売等に取り組むなど経営改善に努めた。	(計画) 長伐期施業の推進や伐採量の平準化を図るため、引き続き契約変更手続を進める。 また、第4期経営計画に盛り込んだ経営改善に向けた取組について、確実な実行に努め、経営の安定を図る。
	財務改善	・計画に沿った事業収入の確保 ・経費の節減	(計画) 第4期経営計画の確実な実行に努め、収支の確保を図る。 (実績) 計画的な立木販売、列状間伐や間伐材の一部に係る直納販売の実施等により、計画を上回る収支を確保できた。	(計画) 第4期経営計画の確実な実行に努め、収支の確保を図る。 (実績) 計画的な立木販売、列状間伐や間伐材の一部に係る直納販売の実施等により、計画を上回る収支を確保できた。	(計画) 第4期経営計画の確実な実行に努めるとともに、経営資金を安定的に確保するため、日本政策金融公庫からの借入金制度の延長等を県を通じて国へ要望していく。
	組織等適正化	・組織、人管理体制の検討	(計画) 現体制を維持する。 (実績) 再雇用等により現体制を維持した。	(計画) 現体制を維持する。 (実績) 再雇用等により現体制を維持した。	(計画) 現体制を維持する。
③県と公社等の関係見直し	人的支援見直し	・県派遣職員数の検討	(計画) 県職員配置の適正化を図る。 (実績) 非常勤役員については、前年度に引き続き県職員2名が就任した。常勤職員は、1名をプロパー採用に切替え、県職員2名の派遣があった。	(計画) 県職員配置の適正化を図る。 (実績) 非常勤役員については、前年度に引き続き県職員2名が就任し、常勤職員として県職員2名の派遣があった。	
	財政支出見直し	・無利子貸付金額の検討	(計画) 元利償還金の原資として必要な額について県による無利子貸付を受けるとともに、県既往貸付金の利息の支払期限の延長を行う。 (実績) 県からの無利子貸付を受けるとともに、償還金の一部を事業収入で賄った。 また、県既往貸付金の利息の支払いについて支払期限の延長手続を行った。	(計画) 元利償還金の原資として必要な額について県による無利子貸付を受けるとともに、県既往貸付金の利息の支払期限の延長を行う。 (実績) 県からの無利子貸付を受けるとともに、償還金の一部を事業収入で賄った。 また、県既往貸付金の利息の支払いについて支払期限の延長手続を行った。	
④情報公開推進	・ホームページで財務諸表等の公開	(計画) 公社に係る多様な情報提供に努める。 (実績) 立木の公売公告や決算状況などホームページ上で情報提供した。	(計画) 公社に係る多様な情報提供に努める。 (実績) 立木の公売公告や決算状況などホームページ上で情報提供した。	(計画) 公社に係る多様な情報公開に努める。	

	(人)	令和元年度				令和2年度			
		合計	県職員	県退職者	左記以外の者	合計	県職員	県退職者	左記以外の者
人的支援	役員数	16	2	3	11	16	2	3	11
	常勤	1	0	1	0	1	0	1	0
	非常勤	15	2	2	11	15	2	2	11
	職員数	8	2	1	5	8	2	1	5
財政支出等	(千円)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	(千円)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	県委託料	0	0	0	県借入金残高	27,270,224	27,582,019	27,969,803	
	県補助金	50,731	51,742	47,748	県の損失補償契約等に基づく債務残高	6,183,885	5,758,509	5,304,283	
	県交付金・負担金・出資金	0	0	0	県職員人件費(県支給分)	15,845	11,570	12,160	
その他の県からの支援等		累積債務の抑止を図るため、県が無利子貸付を実施し、有利子負債の圧縮に努めている。							

①	事業名	事業内容	令和元年度	令和2年度	種別
			決算額(千円)	予算額(千円)	
①	林業公社貸付金	県、日本政策金融公庫、市中銀行からの借入金の償還に必要な額について県が無利子貸付を実施	666,691	615,023	借入金
②	森林整備事業	植栽、下刈り、間伐等に対する補助	43,382	81,826	補助金
③	分収林整備高度化事業	分収林の植栽未済地化の抑制・解消対策に対する補助	4,366	4,651	補助金
④					
⑤					

活動指標	指標名	算式(単位)	令和元年度			令和2年度	令和3年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	目標値
①	契約延長面積	分収林契約の延長を実施した面積(ha)	184.8	265.5	143.7%	295.9	295.9
②	再造林率	再造林地面積/伐採地面積×100(%)	80.0	59.5	74.4%	80.0	80.0
③							
指標の設定に関する留意事項		① 分収林の契約延長は、伐採量の平準化、長伐期施業転換のために実施しているため、目標値は当該年度末までに延長すべき面積としている。 ② 社営林主伐後の再造林について所有者等へ普及啓発等を実施しており、成果として県の目指す再造林率を設定した。					

財務状況	正味財産増減計算書(千円)			貸借対照表(千円)				
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	経常収益	477,951	578,218	473,703	資産	29,147,310	28,645,611	28,080,176
	経常費用	474,828	531,072	903,505	流動資産	390,138	404,568	348,669
	当期経常増減額	3,123	47,146	-429,802	固定資産	28,757,172	28,241,043	27,731,507
	経常外収益	1,598	90	0	負債	38,130,497	38,028,553	37,904,405
	経常外費用	116	446,991	11,485	流動負債	1,147,079	1,178,747	1,113,486
	当期経常外増減額	1,482	-446,901	-11,485	固定負債	36,983,418	36,849,806	36,790,919
	当期一般正味財産増減額	4,605	-399,755	-441,287	正味財産	-8,983,187	-9,382,942	-9,824,229
	一般正味財産期首残高	-8,987,792	-8,983,187	-9,382,942	指定正味財産	0	0	0
	一般正味財産期末残高	-8,983,187	-9,382,942	-9,824,229	(うち基本財産への充当額)	0	0	0
	当期指定正味財産増減額	0	0	0	(うち特定資産への充当額)	0	0	0
	指定正味財産期首残高	0	0	0	一般正味財産	-8,983,187	-9,382,942	-9,824,229
	指定正味財産期末残高	0	0	0	(うち基本財産への充当額)	0	0	0
	正味財産期末残高	-8,983,187	-9,382,942	-9,824,229	(うち特定資産への充当額)	0	0	0

財務指標	指標名	算式(単位)	令和元年度			令和2年度	令和3年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	目標値
①	年度末資金残高	流動資産-流動負債(千円)	316,313	325,235	102.8%	316,313	316,313
	令和元年度 実績値の算式	348,669-(1,113,486-1,090,052)(千円)					
②	中間伐等収入	主伐・間伐・立木損失補償金・支障木売上代金(千円)	411,439	348,699	84.8%	411,439	411,439
	令和元年度 実績値の算式	309,694+32,575+2,935+3,495(千円)					
③	経営改善効果額	公社自身の経営努力及び利息軽減策の効果額(千円)	69,877	74,790	107.0%	65,565	61,600
	令和元年度 実績値の算式	43,526+31,264(千円)					

指標の設定に関する留意事項
 平成30年度を始期とする第4期経営計画における主な計画値を指標とした。
 「①年度末資金残高」の「令和元年度実績値の算式」において、「流動負債」のうち「1年内返済予定長期借入金」については、資金の範囲に含まれないため補正(流動負債合計額から控除)を行った。

直近の県監査の状況
 令和元年度財政援助団体等監査(令和元年11月8日)において、「第4期経営計画の初年度である平成30年度の実績は、列状間伐や繰上償還等に取り組んだ結果、計画を上回る収益を確保したが、平成30年度決算で見ると、債務超過額は前年度から約4億円増加の約9.4億円、県からの借入金等も約3億円増加の約31.7億円となっている。については、今後も引き続き、第4期経営計画を着実に実施するとともに、更なる経営改善を図り、県の財政負担が最小限に抑制されるよう一層の取組を推進されたい。」との要望があった。
 引き続き、第4期経営計画に基づき、経営改善に向けた取組の着実な実行に努める。

総合評価	<p>公社等自己評価</p> <p>平成30年3月に策定した「第4期経営計画」に基づき、前年度に引き続き列状間伐の実施や間伐材の直納販売など公社自身の経営努力による収入の確保に努めるとともに、金融機関の協力を得て金利の減免・繰上償還など利息償還の軽減に努めたことにより、計画を上回る収支を確保できた。今後も、役職員一丸となって更なる経営改善に取り組むこととする。</p>					<p>県所管部課二次評価</p>	<p>木材価格の低迷により、主伐等の林産物売払で、これまでの森林造成に要した経費を賄うほどの収入が確保できておらず、令和元年度末で約98億円の債務超過となっている。</p> <p>また、「第4期経営計画」に基づく経営改善に積極的に取り組み、目標を上回る収支は確保できているものの、間伐売上や貸付金の繰上償還の実績が計画を下回っているため、依然として厳しい経営状況である。</p>																
	<p>評価 (A:良好, B:ほぼ良好, C:やや課題あり, D:課題多い)</p>	<p>改革工程</p> <p>B</p>	<p>活動内容</p> <p>B</p>	<p>財務内容</p> <p>D</p>	<p>組織運営</p> <p>B</p>	<p>評価 (A:良好, B:ほぼ良好, C:やや課題あり, D:課題多い)</p>	<p>改革工程</p> <p>B</p>	<p>活動内容</p> <p>B</p>	<p>財務内容</p> <p>D</p>	<p>組織運営</p> <p>B</p>													
	<p>目標達成度</p>	<table border="1"> <caption>目標達成度 (目標達成率)</caption> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>達成率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活動指標①</td> <td>180</td> </tr> <tr> <td>活動指標②</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>活動指標③</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>財務指標①</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>財務指標②</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>財務指標③</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>				指標	達成率 (%)	活動指標①	180	活動指標②	70	活動指標③	100	財務指標①	100	財務指標②	70	財務指標③	100	<p>公社等改革推進委員会三次評価</p>	<p>第4期経営計画に基づき、列状間伐や有利子負債の繰上償還によるコスト削減等の経営改善に取り組んでおり、目標を上回る年度末資金残高を確保し、経営改善効果額も引き続き目標を上回っている。しかしながら、令和元年度末で約98億円の債務超過となっており、依然として極めて厳しい経営状態にある。</p> <p>引き続き、県内唯一の森林整備法人としての役割を果たすとともに、列状間伐や間伐材の直納販売等収支改善の取組を進めるなど、不断の経営改善努力を重ねることが求められる。</p>		
指標	達成率 (%)																						
活動指標①	180																						
活動指標②	70																						
活動指標③	100																						
財務指標①	100																						
財務指標②	70																						
財務指標③	100																						